



ボリビア・ブラジル旅行記



新城市 太田 みよ子

初めて南米の土を踏んだのは、2年前2001年8月でした。ボリビア在住の友人の所へ泊めて頂いて、オキナワ村で過ごしました。オキナワ村は真っ青な空、真っ赤なティゴの花が印象的でした。8月6日にヌエバエスペランサ校で独立記念集会有り、スペイン語でのセレモニーに参加できたのがいい思い出です。サンタクルスから2泊3日でラ・パスやチイワナコ遺跡、チチカカ湖まで旅行することができ、高山病になりながら歩き回りました。チチカカ湖のあの青い湖面をもう一度見たいと思いますが、体力がないと歩けないなあ、と最近の自分の体を考えると先行き多少不安にかられます。



ヌエバエスペランサ校の子どもたち

この後ブラジルに入り、リオデジャネイロを2日間歩き回りました。ここはとても美しい町で、こんなきれいな所は初めて、と、ポンデアスーカルの上から見て思いました。海岸を歩いても素敵な所でした。ただ私達は現地に住んでいる人と一緒だったのでよかったのですが、観光客だけで回るのは危険ということです。

最後の観光は南米の目玉であるイグアスの滝です。アフリカのビクトリアの滝も圧巻でしたが、イグアスのほうがスケールが大きい、というか、とにかく広い。深さはビクトリア、幅はイグアス、ということでした。ブラジル側から、アルゼンチン側から、そしてパラグアイとの国境を望む地点からと、様々な方向から滝を仰ぎ見たり、ずぶ濡れになりながら見学しました。

最後の5日間は、三河PTA連絡協議会主催の研修です。サンパウロ市の市内公立学校、市内私立学校、郊外公立学校、日本語学校、州教育委員会、日本人学校、サンパウロ大学、日系新聞社（SP新聞・ニッケイ新聞）、JICA愛知県人会と朝早くから夜遅くまでたくさん回って授業を見せていただいたり、歓迎会でお話を聞かせていただくことができました。



イグアスの滝

サンパウロ州については、人口は1千万人を超え、面積は東京23区の3倍。広大な都市で中心部にはビルが乱立しており、東京とサンパウロは変わらないと中学3年生でサンパウロから来日した生徒が言っていました、まさにその通りでした。

日系人の出身地はサンパウロ州に集中していて、代田小学校児童の大半がサンパウロ郊外の出身ということですが、初等学校教育はサンパウロ州で約3千と聞いており



サンパウロ市内の学校

その割に教育委員会が小さいのにビックリ。日本の教育委員会のように全てを把握しているのではないようです。これもお国柄の違いかと驚きと感動の日々はあっという間に過ぎてしまいました。

情報・安心・交流の拠点

あなたの郵便局

豊川市内郵便局

趣味の民芸・土産・造花フラワー店

(株)林電工

恋のれん結び堂

造花フラワー師範 林 叔子

〒442-0027 豊川市桜木通5丁目1番地 (0533)85-9977

